

WEEKLY REPORT

【例会場・事務局】

〒197-0832 東京都あきる野市上代継600
東京サマーランド スポーツクラブハウス
TEL.042-550-0747 FAX.042-550-0059

Rotary

第2580地区



ロータリアンの心に火をつけよう



世界に希望を生み出そう

“Get the Joy of Rotary”

東京秋川ロータリークラブ

2023-24年度 42号

2024年6月20日

第2377回例会

出席報告	会員	出席	欠席	免除	出席率
	47	25	21	1	54.35%

本日のテーマ

つながり合う地域づくり
～こども食堂から～

次回以降のプログラム

6月 27日(木) 最終夜間例会 18:30点鐘 紀伊國屋
7月 4日(木) 全員協議会 新会長方針

第2376回の出席率訂正 会員47名 出席28名 メークアップ3名 欠席15名 免除1名 訂正出席率 67.39%

会長方針

希望ある未来に向かって 新しい一歩を! ~One step to a lively club~

本日のお客様

・多摩分区分ガバナー補佐 浦川 哲男 様

1年間お世話になりました。秋川クラブの鮎を食べる会はいつも楽しみにしています。家内共々またお邪魔させていただきます。

・東京青梅ロータリークラブ 田中 孝行 会長

本日はありがとうございます。これからもご協力あることはさせていただきたいというふうに思っておりますので、ぜひ青梅クラブのこともよろしくお願いいたします。齊藤会長ありがとうございました。

・東京青梅ロータリークラブ 山下 伸司 幹事

昨年の7月に、始めて秋川クラブにご挨拶に伺わせていただいたことを昨日のように覚えております。今後も引き続きよろしくお願いいたします。

・東京福生ロータリークラブ 五十嵐 治 様

齊藤会長、坂谷幹事1年間本当に疲れ様でした。秋川クラブのロータリーデーに初めて出席させていただきましたが、すごいパワーに圧倒されました。齊藤年度の皆さんの力を感じました。

・東京福生ロータリークラブ 熊谷 智 様

齊藤会長・坂谷幹事1年間本当に疲れ様でした。次年度は福生クラブより石川ガバナーが排出されますので、また皆様に本当にご協力をお願いすることが多々あるかと思いますが、今年以上にご協力いただければと思います。本当に1年間ありがとうございました。



浦川 哲男 様



田中 孝行 会長



山下 伸司 幹事



五十嵐 治 様



熊谷 智 様

会長報告 齊藤 章浩 会長

いよいよ来週最終夜間例会ということで、私と坂谷幹事の年度もいよいよこれで終わります。ぜひ皆さん最後だけでも出席率を上げるためにも大勢参加していただければいいなと思います。

また、来年度の平宮年度につながるように、皆さん出席していただければと思います。また本日はたくさんのお客様ご来会いただきましてありがとうございました。



幹事報告 坂谷 充孝 幹事

本日はたくさんのお客様ご来会いただきましてありがとうございます。

計報) 東京青梅ロータリークラブ田中会長のお母様でいらっしゃいます、田中晴代様が6月16日に91歳でご逝去されました。来週月曜日24日6時から通夜告別式が25日10時より行われます。

青少年交換委員会よりホストファミリー募集とファミリーイーバンク登録のお願いの案内が来ておりますのでご報告いたします。最後にこの例会場での例会は本日最後となりました。来週の最終例会がフィナーレです。次年度の平宮年度に繋げたいなというふうに思いますので、出席いただければと思います。



— SAA委員会 — ニコニコ 発表 (平田 賢一 君)

合計金額 51,000円

- ・浦川 哲男 様 1年間ありがとうございました。
- ・田中 孝行 様・山下 伸司 様 東京秋川IRC齊藤会長はじめとする会員皆様には1年間大変お世話になりました。本日もよろしくお願いいたします。
- ・五十嵐 治 様・熊谷 智 様 1年間ありがとうございました。
- ・齊藤 章浩 君 ご来会の皆様本日はようこそおいで下さいました。浦川多摩分区分ガバナー補佐・田中会長・山下幹事・五十嵐会長・熊谷幹事1年間大変お世話になりました。
- ・坂谷 充孝 君 浦川ガバナー補佐・東京青梅RC田中会長・山下幹事 東京福生RC五十嵐会長・熊谷幹事ようこそおいで下さいました。1年間ありがとうございました。
- ・荒井 勝一 君 在籍5年記念を頂きまして。
- ・秦 英準 君 早退します。
- ・麻沼 恵 君 早退します。



— 卓話 — NPO法人全国子ども食堂支援センター むすびえ 総務/プロジェクトメンバー 六鹿 篤美 様 ファミリーホームHANAIの家ホーム長 誰でも食堂ULU(ウル)代表 四条 千賀子 様

子ども食堂の概要・意義)

子供食堂とは、子供が1人でも安心して利用できる無料または低額の食堂のことです。2012年に始まり、2022年12月時点で9,132カ所に増えています。子供食堂は、子供の貧困対策だけでなく、多世代交流の場、食品ロス削減、地域イベントの場としても機能しています。運営主体は任意団体、NPO法人、自治体、宗教法人など様々です。子供食堂は単なる食事提供にとどまらず、子供が自分の存在を実感し、頑張ることを誰かに見守られているという「居場所」の役割を果たしています。大人にとっても、子育て支援や高齢者の活躍の場となっています。子供食堂を通して、世代を超えた交流が生まれ、支え合う地域社会の基盤となります。あきる野市で活動する「誰でも食堂」の立ち上げと運営について、四条様から具体的な事例が紹介されました。里親家庭の子供たちを中心に2015年に始まり、現在は月2~3回開催されています。地域住民のボランティアに支えられ、市からの補助金も受けています。子供から高齢者まで幅広い世代が参加し、交流の場となっています。施設の確保が課題ですが、子供の成長を見守る場所としてこれからも継続していければと思っております、皆様の支援を是非お願いしたいと締めくくられました。



◆編集 週報委員会 担当 柳 新次